

# 平成 27 年度 公 2 事業報告書（川崎市国際交流センター事業）

（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

## I 情報収集・提供事業

### ■ 1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

#### （1）図書・資料室の運営

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

- ① 利用時間 午前 10 時～午後 8 時（開館日）
- ② 利用対象 小学校 4 年生以上（小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要）
- ③ 複 写 資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。  
白黒コピー（B5～A3）1 枚 10 円  
カラーコピー（B5～B4）1 枚 50 円 （A3）1 枚 80 円
- ④ 閲 覧 等 閲覧利用とし、学校等公的団体への貸出しを行った。
- ⑤ 利用者数 13,454 人
- ⑥ 閲覧件数 図書等（2,132 件）ビデオ（152 件）CD（164 件）DVD（28 件）パソコン（696 件）
- ⑦ 閲覧図書上位 1. 参考図書 2. 児童向け図書 3. ワールド  
4. 日本関連図書 5. 海外生活
- ⑧ 蔵書数

書 籍	15,418 冊 和図書 12,785 冊 外国語図書 2,633 冊
新 聞 （日刊・週刊など）	18 紙 英語 1 紙 韓国・朝鮮語 1 紙 中国語 3 紙 日本語 11 紙 フィリピン語 1 紙 日本語 / 中国語 1 紙
情 報 誌	44 誌 和雑誌 30 誌 外国語雑誌 14 誌 在日外国人向け生活情報誌 7 誌
視聴覚資料	636 巻
新聞スクラップ	98 タイトル 390 ファイル

（平成 28 年 3 月末現在）

#### （2）ロビー、ギャラリー等の運営

国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

- ①外国人への情報提供（情報ロビー）

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

②国際交流に係る資料や作品の展示(情報ロビー)

国内外の文化に身近に接してもらうため、写真や絵画などの展示を行った。

③姉妹・友好都市の紹介(ギャラリー)

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

④国際交流に関わる情報提供(談話ロビー、プロムナード)

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

⑤国際交流に関わる情報交換(談話ロビー)

市民や団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。

⑥各国紹介パネルの展示(情報ロビー、プロムナード)

在日大使館などから提供されたポスターや写真などを館内掲出し、紹介するとともにセンターの国際的な環境づくりを行った。

⑦インターネットコーナー(受付前)

市民が無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

(利用時間) 午前9時30分～午後8時00分(休館日を除く)

(利用内容) インターネットの閲覧のみ。

(利用料) 無料。1回あたり30分まで

(利用件数) 948件

**※情報ロビーでの催事・展示**

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化に触れられるように、国際交流の写真や絵画などの展示を無料で行った。また、東北大震災復興支援の読みきかせなども行った。

	展示内容	主催団体等	展示期間
1	アジアの子どもたち・女性たちの写真展	ピースチームチャレンジャー 川崎支部	9/1～13
2	フィンランドの美術交流展	川崎市立日吉中学校	10/11～11/1
3	ブラジリアンフェスタの思い出	(公財)川崎市国際交流協会	11/4～11/21
4	インド祭り	(公財)川崎市国際交流協会	11/22
5	ボランティアタウンフェスタ 2015	川崎市社会福祉協議会	11/28～29
6	フットメザ講習会～紹介とやり方展示～	フットメザ・ジャパン	12/6,1/10,2/7
7	ウーロンゴン大学生&留学生との交流会	(公財)川崎市国際交流協会	1/15～2/29
8	防災を考える～防災訓練写真展と情報提供～	(公財)川崎市国際交流協会	3/1～3/20
9	国際交流協会事業報告	(公財)川崎市国際交流協会	3/20～3/31

**※展示ロビーでの展示**

	展示内容	主催団体等	展示期間
1	ジュニア文化賞 作品展示	川崎信用金庫	10/19～10/23
2	カナガワビエンナーレ国際児童画展 川崎巡回展	(公財)川崎市国際交流協会	12/4～13

## Ⅱ 広報出版事業

### ■ 2 情報提供事業

#### (1) 国際交流センターだより等の発行

##### ①国際交流センターだより」の発行

(目的) 国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催し物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信した。

(発行) 年間10回(月刊、7・8月号、2・3月号は合併号)

(部数) 5,000部/回

(内容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターちょこっとだより、施設点検日・休館日のお知らせ、その他

(配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、川崎市内公立学校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他国際交流関係機関など

##### ②かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

(目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。

(発行) 年4回(季刊)

(部数) 6,000部/回

(編集等) 協会登録のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(配布先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、市内小中学校、高校、大学等、ボランティア、国際交流関係団体等

#### (2) センターホームページの運営

国際交流協会のホームページにより、市民及び外国人に国際交流に関する多様な情報を提供した。

(ホームページ) URL <http://www.kian.or.jp/>

(提供内容)

○川崎市国際交流協会について

- ・国際交流協会案内
- ・協会のイベント及び講座
- ・協会が後援するイベント
- ・ニューズレター
- ・図書・資料室
- ・国際交流事業への助成制度

○外国人への情報提供について

- ・日本語講座
- ・外国人市民相談コーナー
- ・生活情報
- ・外国人留学生への助成制度
- ・7言語での川崎市内のお知らせ

○小学生への情報提供について

- ・川崎市の外国人に関するデータ
- ・姉妹友好都市について

○その他

- ・ボランティア活動
- ・国際交流民間団体協議会
- ・身近な国際協力
- ・Facebook
- ・ブログ

(アクセス件数) 115,359件 (317アクセス/日)

(更新数) 1,116回

### (3) 各種メディアの活用

FM K-city の活用

- ・毎月 1 回、「アクセスかわさき」生放送番組に電話による出演等、センター事業の広報を行った。
- ・「世界の国からこんにちは」にスポンサーとなっている。そこでは川崎市内施設で学ぶ日本語講座受講生等が出演し、自国での経験や外国の新鮮な情報を届けた。

(出演日時) 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

(場 所) 武蔵小杉タワープレイス 1 階

(人 数) 各回 2-3 名の外国人 (中国・ベトナム等) 市民とオブザーバー (日本) 1 名

## Ⅲ 講座・研修事業

### ■ 3 日本語講座開催事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

#### (1) 日本語講座の開催

(講 座)

○午前コース (9:50～11:50) 年間 3 期、週 2 回 (火、金)、

保育 (受講生の子どもを預かる) 実施

1 学期 : 4/24～7/14 (22 回)、2 学期 : 9/15～12/4 (22 回)、3 学期 : 1/19～3/15 (17 回)

○夜間コース (18:30～20:30) 年間 3 期、週 1 回 (水)

1 学期 : 4/15～7/15 (12 回)、2 学期 : 9/2～12/9 (14 回)、3 学期 : 1/13～3/9 (9 回)

(講 師) 協会登録の日本語講座ボランティア

(場 所) 川崎市国際交流センター・会議室

(受講者) 368 名 (45 の国・地域)

#### (2) 特別講座

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

①市内見学 (東海道かわさき宿交流館訪問) 5 月 22 日 (金)

学習者 35 名、子ども 7 名、日本語ボランティア 13 名、職員 2 名 計 57 名 (午前コース)

②手工芸講座 6 月 12 日 (金)

受講者 14 名、講師 5 名、保育ボランティア 1 名、ボランティア 1 名 計 21 名 (午前コース)

③七夕飾りとその作り方 7 月 1 日 (水)

受講生 25 名、日本語ボランティア 10 名、職員 1 名 計 36 名 (夜間コース)

④七夕飾りとその作り方 7 月 3 日 (金)

受講生 31 名、日本語ボランティア 14 名、スタッフ 1 名 子ども 11 名 計 57 名 (午前コース)

⑤市内見学 (日本民家園訪問) 11 月 8 日 (日)

学習者 28 名、子ども 1 名、日本語ボランティア 8 名、職員 2 名 計 39 名 (夜間コース)

⑥特別講座 書道体験 11 月 10 日 (火)

講師 2 名、受講生 44 名、日本語ボランティア 9 名 スタッフ 1 名 計 54 名 (午前コース)

⑦手工芸講座 12 月 4 日 (金)

受講生 24 名、講師 5 名、保育ボランティア 1 名、こども 2 名 計 32 名（午前・夜間コース）

⑧特別講座 書道体験 1 月 27 日（水）

講師 2 名、受講生 31 名、日本語ボランティア 11 名 計 44 名（夜間コース）

⑨課外活動梅まつり（大倉山公園梅林） 2 月 27 日（土）

受講生他 22 名 日本語ボランティア 7 名、職員 1 名 計 30 名

⑩防災訓練 2 月 26 日（金）

受講生 31 名、日本語ボランティア 11 名、保育ボランティア 3 名 子ども 2 名 計 47 名

⑪特別講座 お茶体験 3 月 8 日（火）

講師 1 名、受講生 39 名、日本語ボランティア 15 名 職員 2 名 計 48 名（午前コース）

### （3）研修会

①日本語講座ボランティアブラッシュアップ講座

協会登録日本語ボランティアと川崎市内および近郊で活動している日本語ボランティアを対象に講座を開催した。

（日 時） 平成 27 年 1 月 16 日（土）13:00～15:30

（講 師） 一般財団法人海外産業人材育成協会日本語講師

（場 所） 川崎市国際交流センター

（内 容） -地域日本語教室における「読み書きの活動」「対話型活動」の進め方-  
『日本語おしゃべりのたね』、『日本語おしゃべりのたね』のテキストの活用方法  
と読み書きの活動の具体的な進め方

（参加者） 70 名

②日本語講座ボランティア登録事前研修

協会の日本語講座ボランティア登録の希望者を対象に事前研修を開催した。

（日 時） 平成 27 年 11 月 28 日、12 月 12 日、12 月 19 日、平成 28 年 1 月 16 日、1 月 30 日、  
2 月 6 日、2 月 13 日、2 月 27 日、3 月 5 日、3 月 12 日（土）10:00～12:00

（回 数） 全 10 回

（講 師） 東京外国語大学多言語多文化教育研究センターフェロー、  
協会 日本語講座 ボランティア

（場 所） 川崎市国際交流センター

（内 容） ボランティアの心得、川崎の識字教育のこれまでの歩みに始まり、「日本語 160 時間」上・下巻のテキストおよび中級クラスで使用している  
「中級へ行こう」「中級を学ぼう（中級前期）」を使って、授業の進め方など、実習を中心に学習。

（参加者） 8 名（協会日本語ボランティア登録希望者）

## ■ 4 国際理解講座事業

市民の国際理解を深めるため、日本語、外国語（英語、中国語）のほか文化を通じた国際理解講座を開催した。

### （1）日本語による国際理解講座

日本・中米 5 か国外交関係樹立 80 周年、日本・ラオス外交関係樹立 60 周年を記念して、コスタリカ共和国とラオス人民民主共和国出身の講師からそれぞれの母国の文化や社会情勢等

について講義、質疑応答を行った。

(期 日) 平成 27 年 11 月 7 日 (土)、11 月 28 日 (土)

(時 間) 10:30~12:00

(会 場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11/7(土)	「コスタリカ自然と調和する平和の国 ～外交を中心に～」	元駐日大使	32
2	11/28(土)	「メコン地域におけるラオス 緩衝から懸け橋へ」	研究所研究員	26

## (2) 外国語による国際理解講座

### ①英語による国際理解講座 (前期)

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験について、講義と交流を行った。

(期 日) 平成 27 年 6 月 6 日 (土)、6 月 20 日 (土)

(時 間) 10:30~12:00

(会 場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	6/6(土)	“Political media and control over minds” 「政治的なメディアのコントロール」	慶応義塾大学大学院生	47
2	6/20(土)	“The Role of a Diplomat” 「外交官の役割」	元駐日大使	38

### ②英語による国際理解講座 (後期)

(期 日) 平成 28 年 2 月 27 日 (土)、3 月 12 日 (土)

(時 間) 10:30~12:00

(会 場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	2/27(土)	“France-Japan : two culturally opposed countries and how I try to fit in.” 「フランス人で “ある私か” と “う日本に 適応してきたか」	英・仏語会話学校代表	45
2	3/12(土)	“Japanese Tradition and Mindfulness” 「日本の伝統文化とマインドフルネス」	英語・オランダ語 講師	36

### ③中国語による国際理解講座

外国人市民を講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。中国の伝統文化や現代の社会問題等について、講義と文化の体験や交流を行った。

(期 日) 平成 27 年 10 月 17 日 (土)、10 月 24 日 (土)、10 月 31 日 (土)

(時 間) 10/17, 10/31 10:00~12:00 10/24 10:00~13:00

(会 場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	10/17 (土)	「三国志の世界」	四川省出身 元日本企業勤務	12
2	10/24 (土)	「中国東北部の家庭料理」	哈爾濱 出身 ボランティア相談員 2名	23
3	10/31 (土)	「台日文化交流の現状と将来」	台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター長	27

## ■ 5 国際文化理解講座事業

### (1) 国際文化理解講座

日本ブラジル外交関係樹立 120 周年記念の特別講座として、ブラジルの歴史からみたサンバについての講義とサンバのレッスン講座を開催。サンバの基本ステップから歩き方まで楽しく学んだ。

参加者はブラジリアンフェスタのサンバショーに出演した。

(期 日) 平成 27 年 9 月 5 日、12 日、26 日 (土)

(時 間) 10:00~12:00

(会 場) 川崎市国際交流センター・レクリエーションルーム

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	9/5 (土)	講義「ブラジルの歴史からみたサンバ」 「サンバのステップを体験」	在東京ブラジル総領事館員 サンバチーム女性ダンサー	32
2	9/12 (土)	「サンバレッスン」	サンバチーム男性ダンサー 女性ダンサー	35
3	9/26 (土)	「サンバレッスン」	サンバチーム女性ダンサー 2名	35

## IV 国際交流促進事業

### ■ 6 日本語スピーチコンテスト事業

#### (1) 日本語スピーチコンテスト

川崎市内の大学や専門学校の留学生や日本語講座の受講生および企業等の外国人研修生等を対象に、第 21 回日本語によるスピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と聴衆、関係者との交流も実施した。

(日 時) 平成 28 年 2 月 20 日 (土) 13:00~17:00

(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール 他

- (内 容) スピーチコンテスト、交流会
- (主催等) 主催：公益財団法人川崎市国際交流協会  
 協賛：川崎ライオンズクラブ、創作集団にほんご  
 協力：国際ソロプチミスト川崎  
 後援：川崎市、川崎市教育委員会、川崎商工会議所、  
 「音楽のまち・かわさき」推進協議会
- (対 象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人で、企業の外国人研修生、市内の大学、  
 専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の受講生等
- (出場団体等) 8団体 13名
- |       |                  |                       |
|-------|------------------|-----------------------|
| 中国    | 幸市民館 幸日本語学級      | 「真面目な日本人」             |
| ネパール  | 興和日本語学院          | 「日本での体験」              |
| 中国    | 幸市民館 幸日本語学級      | 「日本人の心づかい」            |
| ベトナム  | 専修大学             | 「沈黙の意味」               |
| 中国    | 多摩市民館日本語学級（昼）    | 「人生は終点の見えない旅行」        |
| ベトナム  | 米山ファッションビジネス専門学校 | 「一期一会」                |
| モンゴル  | 外語ビジネス専門学校       | 「人とつながりたい」            |
| 中国    | 早稲田 EDU 日本語学校    | 「私の誇り」                |
| 中国    | 川崎市国際交流協会        | 「私と寿司」                |
| ネパール  | 外語ビジネス専門学校       | 「求む！ 日本の底力」           |
| ベトナム  | 興和日本語学院          | 「日本での留学生活」            |
| 中国    | 川崎市国際交流協会        | 「未来」                  |
| カンボジア | 専修大学文学部          | 「分からないことは恥ずかしくな<br>い」 |
- (聴衆 参加者) 222名  
 (交流会参加者) 90名

## ■ 7 国際文化交流会事業

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

### (1) 「必聴！十亀正司のカメレオンコンサート」

今年度は、イギリス・シェフィールド市友好都市提携25周年を記念し、東京交響楽団前首席クラリネット奏者で、国内でも数少ないバグパイプ奏者を招き、コンサートを開催した。クラリネットを短くしていきながらの演奏や、その場で加工する野菜クラリネットによる演奏など、大人から子どもまで楽しめる本格的な演奏会とした。

(日 時) 平成27年6月13日(土) 14:00～

(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール

(後 援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会

(内 容) バグパイプ、クラリネット等の演奏

(参加者) 193名

### (2) 世界の音楽会（魅惑の音楽紀行）



「日本・ブラジル外交関係樹立 120 周年」を記念し、ステージ企画・サッカー教室・ブラジル料理屋台・物産展・フットメザ体験・講演企画などブラジルを体感するイベントとして、『ブラジリアンフェスタ』を 2 日間にわたり開催した。

(日 時) 平成 27 年 10 月 3 日 (土) 11:00~16:30

10 月 4 日 (日) 11:00~15:30

(会 場) 川崎市国際交流センター・正面玄関前、ホール、多目的広場、談話ロビー

(後 援) 川崎市、川崎市教育委員会、川崎商工会議所、一般社団法人川崎市観光協会  
駐日ブラジル連邦共和国大使館、「音楽のまち・かわさき」推進協議会

(協 賛) モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合、一般社団法人川崎市観光協会、  
株式会社セブン銀行

(内 容) 10 月 3 日 (土)

ステージ企画：サンバショー、ボサノバギター、カポエイラ&ペリンバオ演奏

サッカー教室（川崎フロンターレの元トップチームコーチによるサッカー指導）

その他：フットメザ体験、ブラジルコーヒー紹介、相談コーナー

10 月 4 日 (日)

講演企画：「ブラジル日本移民 - 100 年の軌跡 -」 元上智大学教授

両日

ブラジル物産展、ブラジル料理屋台、展示・上映コーナー、情報コーナー

(参加者) 3, 000 名

## V 外国人相談事業

### ■ 8 外国人相談事業

外国人から日常生活などに関する相談を受け、情報提供と助言を行うとともに、必要に応じて関係機関・団体等への紹介を行った。

川崎市国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングを毎月 1 回、川崎市国際交流センターで行った。

#### (1) センター相談事業

川崎市国際交流センター

(相談言語・相談日)

英 語	月・火・水・木・金・土	10:00~12:00、13:00~16:00
中国語	火・水・金	10:00~12:00、13:00~16:00
韓国・朝鮮語	火・木	10:00~12:00、13:00~16:00
ポルトガル語	火・金	10:00~12:00、13:00~16:00
スペイン語	火・水	10:00~12:00、13:00~16:00
タガログ語	火・水	10:00~12:00、13:00~16:00

## (2) 区役所相談事業

川崎区役所

(相談言語・相談日)

中国語	第1・3火	14:00~16:30
タガログ語	第1・3火	9:30~12:00
英語	第1・3木	14:00~16:30

麻生区役所

(相談言語・相談日)

中国語	第1・3火	9:30~12:00
タガログ語	第1・3水	14:00~16:30
英語	第1・3木	9:30~12:00

## (3) 相談体制

相談員

川崎市国際交流協会相談員(6名)

ボランティア相談員(区役所派遣6名)

相談件数

年度相談数	1,516件
川崎市国際交流センター	1,459件
川崎区役所	51件
麻生区役所	6件

## (4) 相談支援

### ① 専門相談会

(センター内)

○行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 14:00~16:00)

(外部)

○神奈川県外国人相談機関連絡会

○外国人居住支援ネットワーク運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議

○川崎市外国人代表者会議選考委員会

○川崎市女性保護事業機関連絡会

○中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会

○中原区寺子屋ネットワーク会議

○9都県市外国人相談企画研究会

○県市三協会等連絡会議

○多文化フェスタさいわい(平成27年10月31日(土)開催)外国人相談ブースに相談員2名派遣 相談件数7件

### ② 相談員研修

国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングや研修を毎月第4火曜日に、川崎市国際交流センターで行った。

さらに、川崎市国際交流センターにおいて研修を実施したり外部機関での研修に相談員を派遣

したりする中で、新しい情報収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

○第1回 平成27年4月28日(火)「改正後の入管法について」

○第2回 平成27年7月28日(火)「外国人の労働問題について」

○第3回 平成28年1月26日(火)「相談者と相談員の心のケアについて」

### ③外部研修会等への派遣

○神奈川県外国人相談機関連絡会、神奈川県外国人居住支援NW運営協議会、神奈川県内災害多言語支援センター連絡会

○川崎市居住支援制度連絡調整会議、川崎市人権施策推進協議会外国人市民施策部会

○外国籍県民相談員研修会

第1回 平成27年6月5日(金)「飯田先生から学ぶ、入管法最新トピックス」

第2回 平成27年7月31日(金)「正しく理解しよう個人情報保護法とマイナンバー法」

第3回 平成27年11月27日(金)「進む外国籍住民の高齢化と外国籍介護人材の現状」

第5回 平成28年3月4日(金)「外国籍住民の貧困の実態」

○「やさしい日本語」講座～平易でわかりやすい日本語による情報提供～

○在日日系人のための生活相談員セミナー

○関東弁護士会連絡会外国人相談担当者による懇談会

○おもてなし研修会「外国人観光客へのおもてなしを考える」

## ■※施設運営及び維持管理業務

### (1) 国際交流センターの管理運営(JV)

#### ①統括業務

施設の運営及び維持管理業務を円滑に行うため、業務間の調整を行い、職員への教育・指導を行った。

#### ②施設利用受付及び案内業務

ア 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

イ 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

#### ③施設利用促進業務

ア ホームページならびに地域住民への回覧、チラシ等による情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。

イ 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業開催の利便性などについて説明し、施設利用促進を図った。

ウ 随時、施設見学を受けて市民への利用促進を図った。

エ 川崎市国際交流センター活用推進検討委員会の開催

【川崎市国際交流センター活用推進検討委員会】

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、第3期川崎市国際交流センター活用推進検討委員会委員選任後、平成27年度第1回川崎市国際交流センター活用推進検討委員会を開催した。

日 時：平成 28 年 3 月 3 日（木）午前 10 時から

会 場：国際交流センター 1 階 特別会議室

■外国人市民、来館者を交えた防災訓練の実施

日 時：平成 28 年 2 月 26 日（金）10:14～11:50

内 容：防災訓練

中原消防署による消防訓練

防災用品の展示、身近な備え紹介

漆黒の暗闇体験と災害用アルファ米の試食

災害用伝言ダイヤル 171 の体験、web 171 災害用伝言板

119 通報訓練、AED 体験、水消火器体験、煙体験、起震車での大地震体験

多言語資料の配布、災害用品の展示、自然災害の脅威

■図書・資料室管理業務

ア 一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び分類や、本の装備と配架などの作業を速やかに行い、利用者へ最新の情報提供を行った。

イ 小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。

ウ 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を毎月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。発行部数 260 部で近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。

エ 隔月毎にテーマを設けて図書の展示を行い、多くの入館者へ様々なジャンルの本の紹介をした。

④施設・設備の維持管理及び補修業務

ア 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。

イ 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。

ウ 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。

エ 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

⑤舞台及びAV機器等維持管理業務

市民文化の育成と国際文化交流の場とすべく、利用者に対し機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置ならびに機器類の維持管理を行った。

⑥施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

⑦駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図

り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

#### ⑧設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

#### ⑨施設環境衛生管理業務

ア 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

イ 空気環境測定業務 年6回（奇数月）

ウ 飲料水水質検査 年2回（2月・8月）

エ 給湯水水質検査 年2回（2月・8月）

オ 害虫防除 年12回

カ レジオネラ症対策（空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施）  
（冷却水水質検査 年2回 6月・8月）

#### ⑩施設清掃業務

ア 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

イ 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

ウ フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

#### ⑪植栽維持管理業務

ア 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

イ イベント広場などの庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場としての環境維持に努めた。

ウ 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

## (2) 施設整備

### ①施設の改修

- ・誘導灯バッテリー交換工事
- ・天井点検口（交流サロン・レセプションルーム前）増設工事
- ・地下駐車場漏水対策工事
- ・別棟外壁タイル脱落補修工事
- ・空調機不具合整備工事
- ・空調機外気ダンパー廻り修繕工事
- ・排気ファン整備工事
- ・スプリンクラー設備漏水バルブ交換工事
- ・監視カメラ設備修繕工事
- ・レセプションルーム操作パネル設置等工事

### ②施設の環境整備等

- ・1階冷水機故障修理
- ・茶室水琴窟給水バルブ交換工事
- ・利用時間拡大のため「かわさきWi-Fi」加入

- ・ 第2、3会議室椅子を更新
- ・ 茶室の座敷椅子整備
- ・ 寄附申出対応による利用環境の向上  
茶室大炉、プロムナード柱及び交流サロン壁面に絵画等を展示

### (3) 市民共同おひさま発電所の見学会

#### ①経過等

平成20年8月 国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

これは、地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となり立ち上げた、「市民共同発電所プロジェクト」が、市民、事業者から集めた寄付金とグリーン電力基金からの助成金及び a p b a n k からの融資を受けて市民自らの手により設置し川崎市に寄付したものである。

川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、また、センターを訪れる外国人をはじめ多くの来館者に対して、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続して発信していく。

平成27年度見学会実績：11月29日（日）ミャンマー4名、カナダ1名、日本13名

#### ②設備の概要

太陽光発電（合計出力）	6.25kW
内訳 国際交流センター陸屋根設置分	4.32kW
プロムナード上部設置部分	1.93kW
事業費 約850万円	
内訳 寄付金	150万円
グリーン電力基金	700万円

### (4) 利用実績

#### ①平成27年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4月	21,763人
5月	32,320人
6月	18,204人
7月	30,547人
8月	14,172人
9月	16,318人
10月	24,212人
11月	20,127人
12月	16,030人
1月	15,699人
2月	21,668人
3月	18,346人
合計	249,406人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、

インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計です。

**②川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：345日）**

施設名	利用コマ数	利用率%	施設名	利用コマ数	利用率%
ホール(264)	748	72.3	特別会議室(28)	47	4.5
レセプションルーム	644	62.2	特別応接室(8)	129	12.5
会議室(第1)(36)	516	49.9	料理室(24)	256	24.7
会議室(第2)(24)	780	75.4	交流サロン(30)	837	80.9
会議室(第3)(24)	652	63.0	茶室	329	31.8
会議室(第4)(30)	603	58.3	レクリエーションルーム	1010	97.6
会議室(第5)(30)	588	56.8			
会議室(第6)(18)	805	77.8			
会議室(第7和室)(10)	784	75.7			

(注) 1 ( )は定員

2 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3 利用率は、小数点以下2桁を四捨五入

※申し込みは、川崎市公共施設利用予約システム（ふれあいネット）による申し込み及び抽選。但し、ホール、レセプションルーム、特別会議室、特別応接室は直接センターの窓口で受付。